

OKIU

MAGAZINE Vol.122 Summer



- 02 入学式
- 04 Hallo New Students
新入生紹介
- 06 新学長・副学長・常務
- 08 米軍ヘリ墜落事件
20年を振り返る
- 12 ゼミ紹介
- 14 研究室探訪
- 18 厚生会館リノベーション
- 22 OKIU 青春白書
- 26 ニューストピックス
- 30 クラブ・サークル紹介
- 34 クラブ・サークル実績
- 38 人事情報
- 40 大学行事案内



おおしろ らんせい
大城 藍星
人間福祉学科 3年次

私は現在、部活の野球と、社会福祉士になるための勉強に励んでいます。幼少期から続けてきた野球はもう少しで引退ですが、今までの集大成を魅せられるよう頑張ります。また、実習や国家試験の勉強は大変ですが、同級生のみんなと励まし合いながら頑張ります。

コロナ禍明け

令和6年度 入学式

5年ぶりに制限なしで開催!

2024年4月1日(月)、本学講堂兼体育館において、第53回沖縄国際大学入学式・第28回沖縄国際大学大学院入学式を執り行い、学部生1,279名(編入生含む)、大学院生24名が晴れて沖国大の学び舎で大学生活をスタートさせました。また、5年ぶりに多くのご家族の皆様にも式典会場にご来場いただき、コロナ禍前と同様、大変賑やかな入学式となりました。

式典の中で安里肇学長は「皆さんは、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けた世代であり、行動制限等によって、様々な制約や不便を経験したかと思います。そのような状況下で、本学への進学に希望を抱き、勉学に励み、本日の入学式を迎えることができたのは、皆さんの努力の結果であると考えます。(中略)大学の4年間および大学院の2年間は、皆さんの今後の人生を左右する貴重な期間ですが、体感的には、とても短く感じるはず。時間は有限ですが、活用次第では無限の可能性が広がります。皆さんには、本学で知的な冒険に挑戦し、常に好奇心を持ち続け、成長していくことを期待しています。一日一日を大切に、将来の夢実現に向け、真剣に勉学に励むことを切望します」と式辞を述べられました。

学部新入生を代表して総合文化学部 社会文化学科の系数 逸晴さん、大学院新入生を代表して地域文化研究科 人間福祉専攻の山下 千尋さんが「日々学業に精励し、学生としての本分を全うすることを誓います」と新入生宣誓を行いました。

また、式では、人物及び学業ともに優秀な成績を修めた者や体育活動等や文化活動その他の分野で本学に著しく貢献した個人に対して、校友会会長賞、後援会会長賞の表彰も行われました。



Hello New Student

新入生を紹介します！

新たなスタートラインに立ち、大学での学び、新生活に胸を躍らせる新入生たち。

彼／彼女らに、これからの気持ちや意気込みを聞きました！





理事長・学長
安里 肇
産業情報学部 教授

沖縄国際大学 三役ご挨拶

2024年4月1日付で、本学は新役員体制となりました。
第14代理事長・学長に安里肇教授が就任し、副学長には比嘉正茂教授、常務理事には清村英之教授が就任しました。
本年度からの新体制発足にあたり、ご挨拶を申し上げます。

皆さんの夢実現に向けて全力でサポートします

理事長・学長 安里肇

沖縄国際大学は、「真の自由と、自治の確立」を建学の精神として、1972年に設立された地域密着型の大学です。地域に根ざし世界に開かれた大学を目指し、地域のリーダーとして世界に羽ばたく人材の育成に取り組んできました。

これまで返済不要の奨学金の充実に力を入れ、21種類の給付型奨学金制度があります。これからも、学生一人ひとりが自らの可能性を最大限発揮できるよう、安心して快適に学べる学修環境の整備に取り組んでまいります。

皆さんが夢を実現し、未来を切り開く力を身につけられるよう、全力でサポートしていきます。

人間力の育成をめざして

副学長 比嘉正茂



副学長
比嘉 正茂
経済学部 教授

本学のイメージは？と聞かれたら、私は次のように答えます。

「沖縄の経済・社会・文化の屋台骨を支えている大学」、「学生の伸びしろ（成長力）が大きい大学」。本学では創立以来、5万7千人余の卒業生を輩出してきました。私もその卒業生の一人です。卒業生が各分野で幅広く活躍するなかで、県内企業からは「オキコクの卒業生は適応力・柔軟性に長けている」等の評価も頂いています。沖縄の屋台骨を支える大学として、そして皆さまに「伸びしろのオキコク」を実感してもらうために、これからも人間力の育成に努めてまいります。

皆さんの学生生活を支えます

常務理事 清村英之

常務理事って、何をしているのかわかりますか？ 職務内容は広報、企画、法務、渉外、財務、予算、財政計画、施設、自己点検・評価など多岐にわたりますが、皆さんが快適に学生生活を送れるよう、大学をキチンと運営し、学修環境を整えるのが仕事です。

学生会館の竣工や、厚生会館のリノベーションを行ってきたように、今後も学修環境の整備・充実を図り、皆さんの学生生活が充実したものとなるよう、そして、卒業時に「オキコクで良かった！」と思ってもらえるよう尽力します。



常務理事
清村 英之
産業情報学部 教授

米軍ヘリ墜落事件からの20年

— 米軍ヘリ墜落事件20年を振り返る —

2004年8月13日に起きた米軍CH53Dヘリ墜落事件から今年で20年が経ちました。事件当日は夏季休業中のため、構内には学生や教職員も少なく、幸いにも死傷者はいませんでした。普天間飛行場の全面返還が合意されたにもかかわらず、米軍機の離着陸の騒音問題や墜落の危険性はいまだに解消されていません。

本学では2024年8月13日に、「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」をポケットパークで開催しました。図書館で行われた特別企画の様子とともに事件当時の様子を併せて紹介します。

「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」の様子



米軍ヘリコプター墜落から20年の節目にあたって(声明)

沖繩国際大学 理事長・学長 安里 肇

2004年8月13日のこの時間に、米軍ヘリコプターが墜落炎上し、学生、教職員、市民、県民を恐怖に陥れてから、今日で20年目の節目となりました。何も変わらない現状と今後の展望が見通せない未来に大きな危機感を覚えます。あの日の墜落現場の惨事と米軍の理不尽な事故処理に対する市民、県民の強い憤りが、時間の経過と共に薄れていくことが非常に残念ではありますが、米軍ヘリコプター墜落事件の惨事の記憶を風化させてはいけません。我々は、米軍ヘリコプター墜落事件に対する憤りの記憶を改めて鮮明に呼び覚まし、この記憶を受け継ぐとともに、事件以来、求め続けてきた普天間基地の閉鎖を繰り返し要求し、ここに強い決意を込めて「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」を開催し、声明を発表します。

【中略】

普天間基地返還合意から28年が経過しましたが、現状は何ら変わらずむしろ悪化していると言っても過言ではありません。普天間基地の撤去は、日米両政府で合意し、県民誰もが強く求めているところであり、決して忘れ去られてはなりません。

沖繩国際大学は、琉球・沖縄の歴史の中で、人々が求め続けてきた「真の自由と、自治の確立」を建学の精神として、地域に根ざし、世界に開かれた大学を目指し開学しましたが、この米軍ヘリコプター墜落事件は本学の歴史に大きな傷跡を残しました。事件から20年経過してもなお変わらぬ現状に強い憤りを感じます。安全・安心・平和への思いは、大学人に限らず、思想・信条を超えて万人が求めるところがあります。大学や地域社会の平穏・安寧を脅かす普天間基地の存続、ましてや固定化を、認めることは絶対にできません。

沖繩国際大学は、米軍ヘリコプター墜落事件から20年にあたって、危険の上ない普天間基地を即時閉鎖し、撤去することを、ここに改めて日米両政府に強く要求すると共に、平和を希求する沖縄の思いを世界に発信し共有されることを願います。

米軍ヘリ墜落事件に関する本学の組織的対応

2004年8月13日(金)

14:15頃 米軍ヘリ(CH53D)が本館ビルに激突し、墜落。爆発。炎上。企画課・学長室・会計課・電話交換室等へ甚大な被害を及ぼす。



14:18~14:25 職員および学生緊急避難、3号館1階ロビー等へ誘導。

14:27 米軍により本館周辺は強制封鎖され、立ち入り禁止。宜野湾市消防が現場へ到着。消火作業開始。



15:08 宜野湾市消防により火災鎮火(その後、現場検証を拒否される)。

15:20 米軍ヘリ墜落事件対策本部を設置(第1回対策会議)。

メンバー:学長・常務・法学部長・図書館長・経済学部長・産業情報学部長・事務局長・庶務課長・広報課長

協議事項:沖繩国際大学緊急対策本部の設置。本部長に学長、副本部長に金城常務と富川部長を選出。現時点での学生・職員の安全を確認。緊急声明を発表することを決定。

16:00 第2回米軍ヘリ墜落事件対策会議。

協議事項:本館への立ち入りを決議/緊急声明の原案を作成。

16:30 本館立ち入りを求めたが、崩落と引火の危険性があるという理由で立ち入りを拒否される。現場は米軍・警察・マスコミ等で騒然。米軍ヘリ墜落に対する緊急声明を発表。

17:00 第3回米軍ヘリ墜落事件対策会議。

協議事項:記者会見にむけての対応を協議。宜野湾市との合同会見を実施。合同記者会見を実施し、強く抗議(5-209教室)

出席者:宜野湾市長・学長・本学ヘリ墜落事件対策本部関係者

19:00 第4回米軍ヘリ墜落事件対策会議。

協議事項:各課からの現状報告と明日(8/14)からの対応について14日の学内行事・講義等は通常通り行うことを確認し、その旨、学長告示とすることを決定。担当部署に対して連絡の徹底を指示・確認。

19:30 沖縄県警・米軍現場担当者等との交渉の結果、緊急時持出書類及び私物等運び出しのため、一時的に本館へ立ち入る。

23:00 法的措置として「現状維持・証拠保全の仮処分申請」を検討。「米軍ヘリ墜落事件の起こった8月13日から10月15日(組織移行)までの約2ヶ月間、「米軍ヘリ墜落事件対策本部」は本会議を計12回(緊急調整を数十回)開催し、今回の事件に対する本学の組織的対応の意思決定機関・対外的窓口として機能した。」

8月14日(土)

09:00 第5回米軍ヘリ墜落事件対策会議。



09:30 防衛施設庁関係者と共に墜落現場へ立ち入り(10分間撮影)。

10:00 石井防衛施設庁次長、対策本部を訪れ、お見舞いの言葉を述べる。

15:15 沖縄県警本部長・宜野湾警察署長宛てに「現場検証・事後処理に関する要請書」を提出。

17:00 第6回米軍ヘリ墜落事件対策会議。

18:00 渡久地学長が本館ビルへの立ち入りを正式に許可される(10分間)。

20:50 情報ネットワークが一部回復・HPによる情報発信を準備。

8月15日(日)

【県内新聞2紙の同日付朝刊に「米軍ヘリ墜落事件対策の現状報告」を掲載】

10:00 米軍による機体撤去のための事前調査に沖縄県警・宜野湾市消防と共に同行し、本館・事故現場に立ち入る。ビデオ・写真により被害状況を記録(同映像・写真等をマスコミに提供・配信)。

13:00 第7回米軍ヘリ墜落事件対策会議(被害状況報告)。

16:10 防衛施設庁職員と協議(一刻も早い大学機能の回復を要求)。

19:50 第8回米軍ヘリ墜落事件対策会議。米軍、墜落ヘリの期待撤去に向けた作業を開始(～8月19日)。

8月16日(月)

07:00 米軍、墜落ヘリの機体撤去に向けた作業を開始(～8月19日)。



08:00 米国海兵隊・法務部より沖縄県警に対して合同捜査拒否回答。

08:40 米軍が大学の許可を得ないまま、現場周辺の樹木伐採を開始。

10:00 日本政府・外務省・防衛庁・防衛施設局・米国総領事館・沖縄県への抗議行動(抗議文書を手渡し、抗議)。

10:45 在日海兵隊基地副司令官J・フロック准将らが来学し、学長へ謝罪。渡久地学長が准将へ直接抗議を行う。

13:30 米軍ヘリ墜落事件対策本部報告会。

15:52 墜落ヘリの機体の一部(尾翼部分)搬出。

16:00 本学HPからの情報発信を開始「米軍ヘリ墜落事件に関する情報」。

8月17日(火)

10:00 第9回米軍ヘリ墜落事件対策会議。



13:00 米軍ヘリの機体搬出・県警との合同捜査拒否に対して抗議。

13:00 学生・教職員・地域住民に対する精神的ケアについて要請。本学・総合文化学部教授会による抗議決議。

8月18日(水)

09:00~ 本館・事務部門の機能移転作業を開始(本館ビル使用不能)。

14:00 第10回米軍ヘリ墜落事件対策会議。

8月19日(木)

12:20 米軍による墜落ヘリの機体撤去作業が、ほぼ完了。

13:50 本館周辺・事故跡地の管理権限が米軍から沖縄県警へ移る。

16:35 沖縄県警による現場検証終了。

16:35 沖縄県・環境保全課が土壌調査のためのサンプルを採取(1回目)。

17:35 2次災害防止のため、那覇防衛施設局及び米軍が事故跡地周辺に安全柵を設置(作業終了時刻/20:50)。本学・法学部教授会による抗議決議。

8月20日(金)

09:15 普天間飛行場より米軍ヘリ19機が離陸・飛行再開。

10:00 理事会を開催(状況報告)・理事会による抗議声明を発表。

14:00 全教職員への説明会。

16:00 学生・保護者への説明文書「米軍ヘリ墜落事故について」を発送。

16:35 沖縄県・環境保全課が土壌調査のためのサンプルを採取(2回目)。本学・経済学部教授会及び産業情報学部教授会による抗議決議。

本学関係者による米軍ヘリ墜落事件20年を振り返りコメント



法学部 教授
佐藤 学

2004年12月に大学グラウンドで、有志が難儀して開催したNo Fly Zone Concertで、軍用機の飛ばない平和な空を求めた私たちの声は、日米両国政府に届くことなく、普天間返還の条件である機能を強化した「代替施設」建設が辺野古で進行している。完工に15年もかかり、しかもそれは普天間返還を保証しないのだが、辺野古反対の民意は斟酌されないどころか、南西諸島防衛力強化により沖縄県全体が、今度はオスプレイ墜落、そして軍事衝突による生命の危険に晒される。ヘリ墜落事件を体験した私たちは、その意味を伝える義務を負う。20年前の歴史としてではなく、現在の問題として。



琉球朝日放送
報道制作部 記者
金城 有佳

黒く焼け焦げた壁と黒い二本の木の重々しい姿は、今でも脳裏に浮かぶ。私にとって風化させたくない記憶の一つだ。事故から20年。ふと空を見上げると、何事もなかったかのように、米軍機は今もわが物顔で頭上を飛び回る。本土から「他人事」と見られがちな沖縄だが、米軍基地が集中している事実は揺るがない。私たちにとって基地の問題は、命と生活に関わる問題だ。

私にとって「8月13日」は、自らの足元を見つめ直す日。当時を知る当事者の一人として、戦後沖縄が辿ってきた歴史と今に向き合い続けたい。

特別企画について

8月13日当日、図書館4階AVホールで特別企画を実施しました。田場図書館長に特別企画についてお話を伺いました。



図書館館長 田場 裕規
(総合文化学部 教授)

今回の特別企画は、執行部との話し合いを交えて、8月13日をこれからも忘れないための内容にしたいということで、講演会と朗読劇、学長、教職員、学生による平和宣言を行いました。事件当日いち早く駆け付けた新聞記者の磯野直さんには、記者の目線でヘリ墜落事件について講演して頂きました。大城貞俊さんにはこの墜落事件が再び詩に向き合うきっかけになったと伺っておりましたので、自作の詩を朗読して頂きました。

上江洲さん、高宮城さんの朗読劇「にんげんだから」では、お二人による朗読、後半の群読には朗読劇メンバーや学生に協力して頂き、声の力、言葉の力を通して、平和の尊さを考えて頂く機会になったのではと思います。

平和宣言には、朗読劇の出演者や本学教職員にも参加して頂きました。教育機関として平和への想いを今後どのような形で若い世代に継承していくか考えていきたいと思っております。

特別企画の様子



学長・教職員・学生による平和宣言

■ 講演会

テーマ①：記者の目から見た沖縄大ヘリ墜落事件

講演者：磯野直（沖縄タイムス社 社会部部长）

テーマ②：『或いは取るに足りない小さな物語』創作夜話

講演者：大城貞俊（詩人、作家）

■ 朗読劇：「にんげんだから」

出演者：上江洲朝男、高宮城六江、嘉数貞夫

■ 平和宣言

■ 平和の木モニュメント



磯野直



大城貞俊



朗読劇：「にんげんだから」



平和の木モニュメント



考古・先史学ゼミ 普天満宮洞穴遺跡 発掘調査



社会文化学科 新里・宮城ゼミ生の皆さん

今年8月、社会文化学科の考古・先史学ゼミ（宮城弘樹、新里貴之）による普天満宮洞穴遺跡の第3次調査を実施しました。

普天満宮は琉球国王も参詣したとされる由緒ある神社で、琉球八社のひとつとされています。

考古学研究室では、2022年度から普天満宮社殿背後の洞穴内を発掘調査しており、貝塚時代前期（縄文時代）の文化まで確認することができました。2023年度にはさらに下層を調査し、土器も出土しない層を確認し、火を焚いた炉跡とともに、焼けた礫や透明度のある結晶質石灰岩、骨片などが出土しました。出土した炭や骨の放射性炭素年代測定を実施したところ、約32000年前～約18000年前の旧石器時代（後期更新世）の遺跡と、約11000年前の人骨であることが判明しました。これらのことから、同遺跡は、県内でも最古級の人類の活動痕跡であり、沖縄の人類史を考えるうえで、極めて重要な遺跡の一つであると位置づけられます。

2024年度も研究・分析を引き続き行い、今後、その具体的な生活を解明する予定です。



在原 梨央 総合文化学部 社会文化学科2年次



本土とは違う沖縄の歴史に興味があり、学科の講義を受けていくうちに、文字の文献記録が無い時代の遺物から時代を考えていく考古学の魅力に惹かれました。

考古学専攻の場合、宮城弘樹先生と新里貴之先生に指導していただいています。普段の先生方は穏やかですが、発掘現場で道具を持つと真剣さが伝わってきます。現場では良い緊張感が出てきて、とても頼りになり、分からないことを聞いても色々教えてくださいるので勉強になります。これまでの洞穴調査で大きな発見をしたことは講義を通して知り、驚きました。

今年も、普天満宮の宮司様のご厚意で洞穴調査ができることになり、後期には、発掘した遺物の資料整理を通して詳細な調査を行う予定です。考古学の魅力は「遺物」だと思います。何千、何万年前のものに実際に触れて、どうい歴史を辿ってきたかを想像しながら、実習に参加できることがとても楽しいです。

中道 美海 総合文化学部 社会文化学科3年次



考古学に興味を持ったのは、高校3年生のときに地元の伊礼原遺跡の新聞記事を読んだことがきっかけです。考古学を学ぶカリキュラムが充実していたのが沖縄大学の決め手でした。入学当初はゼロから始めた考古学ですが、基礎から学べる講義も多く、どんどんレベルアップして知識を深めることができます。

昨年度から洞穴調査に参加していて、先輩についていくのに必死でしたが、今年の調査では、これまでの資料整理等を通して見る目がついたことを実感し、後輩に教えることもできるようになりました。夏期休業中には遺物の洗浄や選別、出てきた順にナンバリングを行い、一覧表にしています。

大きな発見があった発掘場所は担当していたところだったので、きちんとできていたのか不安もありましたが、大事な発見に携われたことは嬉しかったです。考古学は歴史学と似ているように思われますが、文字が存在する前の生活について遺物を通してアプローチすることが大きな魅力です。

今後は、これまで学んだ考古学の知識や経験を活かせる学芸員を目指しています。考古学を学びたいと考えている人はぜひ来てほしいです。



広報課コメント

取材当日、宮城先生と新里先生にもお話を伺うことができました。

普天満宮の洞穴調査は夏期実習として、人類活動の痕跡が出ない地層まで行う予定です。この洞穴調査は、これまでの調査や金武町の鍾乳洞の調査も終了したタイミングで普天満宮から声を掛けていただき、とても良いタイミングで始まりました。通常の発掘調査はオープンな環境で行いますが、洞穴は湿度が高く狭い環境のため、空調や明かりを準備するなど調査環境を整えることが大切で、先生方は学生の健康面に何よりも気を付けているそうです。

ここ数年はコロナ禍の影響で実習を行うことも難しかったそうですが、座学だけでは得られない発掘の楽しさや学びの意義など、現場の空気感に触れて学生と一緒に実習を行えることに喜びを感じていらっしゃる様子でした。何よりも発掘調査に携わる学生の様子が生き生きとしていたことが印象的でした。

取材にご協力いただき、ありがとうございました。



Takayuki SHINZATO

新里 貴之

総合文化学部社会文化学科 准教授

先生の幼少期から大学に入学するまでをお聞かせください

中高校生のころは、剣道部に所属していました。勉強も嫌いではありませんでしたが、大会で勝っていくことが楽しく、部活漬けでした。玉竜旗剣道大会や九州大会にも出場しました。

高校時代に、大正時代の総合商社鈴木商店の本を読んで、大学では経済学を学びたかったのですが、勉強不足で、浪人することになりました。浪人時代の予備校の講師の世界史の授業がとても面白くて、それで大学では世界史に関することを学ぼう!と思い、沖国大に入学しました。

では、いつ頃から考古学に興味を持ちましたか?

私が入学した社会学科(現:社会文化学科)は「歴史学」のゼミがありませんでした。入学時に描いていた夢は無理かもと少し悶々としながらも、一番近いと思った考古学ゼミを選びました。

大学2年次に、「具志川島遺跡群(伊是名島と伊平屋島の間にある無人島にある遺跡群)」という無人島の発掘調査に放り込まれたことで世界観が変わりました。朝は水汲みから始まり、発掘調査、その間に食料が港に届くので宿舎まで運びます。宿舎は廃校になった校舎を使っていたので、壁がなく、ボロボロの建物でみんな雑魚寝をしました。風呂も海水まじりの水を汲み上げて使用していました。

調査は、お墓の発掘が中心だったので人骨などさまざまな物が出てきました。調査自体がサバイバルをしている感覚でワクワクするようになり、それで一気に考古学に魅力に取り憑かれました。

その後、考古学の学びに一直線でしたか?

大学3年次のころに家庭のことでいろいろありまして、大学に足が向かなくなりました。サークル活動だけは参加していたので、剣道部にスポーツ同好会と演劇部にも所属して、サークル活動漬けの日々を過ごしました。

それで、3年次の単位はほとんど取れませんでした。このままではダメだ!と4年次になった時に、恩師の高宮廣衛先生に呼び出されて、一喝されたんですね。それで気持ちを入れ替えて、遅れた分を巻き返すため月曜日から土曜日まで夜間の講義も登録して、必死に勉強しました。また、卒業論文の準備をしてなかったので、基礎からもう一度勉強直して同期生とほぼ1年間、ゼミ室にこもって勉強を続けました。高宮先生から卒業論文の内容を認めてもらったのが嬉しかったです。

卒業後は、大学院進学や研究者の道に進むことに意識は向いておらず、役所で文化財の仕事に携わっていきたいという漠然とした気持ちでした。そのあたりの気持ちを高宮先生に相談したところ、「君、院に進学して勉強したら?」と勧められてから、腰をすえて考古学を研究する道に進むことを決意しました。その際、進学先の話になって、九州大学や熊本大学にも考古学があるのですが、沖縄に近いことをやりたかったので、鹿児島大学に進学したいと伝えました。

ただ、本土ですぐにやっていく自信がなかったことと、本学で研究生もやって、高宮先生から研究論文のことは別に、先生が1960年代に掘った伊是名貝塚の報告書を出すよう指導されました。その報告書は、『沖国大考古』11号(1995年)に掲載させていただき、自信につながりました(今読むとひどいものですが…)。鹿児島大学には一般入試で無事合格することができました。

OKIU

研究室探訪

遺跡から、沖縄に生きたヒトを知る

考古学とは、遺跡や遺構から、当時を生きたヒトを知る学問です。当然、文字がない時代も含まれています。

沖縄国際大学は開学当初より考古学が盛んで、琉球列島に存在するさまざまな遺跡や遺構を調査し、発掘された遺物等から南島圏に生きたヒトの歴史を紐解いてきました。

今回は、本学の卒業生でもあり、現在、社会文化学科で考古学領域の一翼を担っている新里先生にインタビューを行いました。

大学院ではどのようなことを研究されましたか？

最初は九州地区の弥生土器のことをやっていたのですが、琉球列島のその時期の土器は何なのか？という問いに答えられない場面があったんですね。勉強不足ということもあったんですが、沖縄出身で琉球列島周辺のことが答えられないのはよくないと思い、琉球列島について研究を始めました。そうすると、九州地区と種子島付近、奄美大島付近、沖縄本島付近では考古学的には異なる点が多いことがわかり、修士論文は弥生時代の琉球列島の土器の地域性を中心に書くことに決めました。

修士課程2年のときですが、東南アジアご専門の新田栄治先生が、イタリアの発掘調査に参加したい学生を募集していました。先生の母校である東京大学のイタリア発掘調査への誘いでした。私は直ぐに参加表明し、夏休みの3か月間、イタリアで発掘調査と資料整理に参加させていただきました。日本と全く異なる遺物(ランプやアンフォラ)や遺構(石積みの壁やモザイク床など)を掘り出し、整理するのはとても楽しい体験でした。ただ、夏休みを含めた3か月間を海外調査に費やしたので、修士論文を書き上げるための遺物の図化作業が間に合わず、1年延長して在籍することにしました。そうしたときに新田先生から年末のベトナム調査にお誘いいただき、1か月間同行させていただきました。日本とは全く異なる文化をもつイタリアとベトナムでの調査体験は、研究の視野を広げるための基礎的な感覚になっています。



大学院修了後についてお聞かせください

鹿児島大学の埋蔵文化財調査室(現:埋蔵文化座調査センター)で一年非常勤をした後、助手に就きました。鹿児島大学はキャンパスに遺跡が眠っています。工事のたびに遺跡や遺物が出土するので、鹿児島大学では学内に埋蔵文化財の調査機関があり、私は20年あまり、そこで調査の仕事に従事させていただきました。働きながら再度大学院に社会人入学して、博士号を取りました。家庭を持ちながらだとそれはそれで苦労しました。

本学に採用されるきっかけを教えてください

冲国大の考古学分野で公募が出て、2021年に採用されました。母校のためにこれから頑張りたいと思っています。社会文化学科は沖縄を歴史、文化、社会をパッケージで学べるところなので、考古学でその一翼を担えたら、と思っています。

採用されていかがだったでしょうか？

それまでは、ずっと調査研究が主体で、ゼミ学生を持つという経験がなかったんですね。また、2021年はコロナ禍でしたので、学生と対面でかかわる機会が少なく、学生たちに対して何もできていないと感じていました。制限があるなかでも、どうにか実習経験は積ませたかったので、学生たちが通いで行ける発掘場所を宮城弘樹先生と探していました。

そこで、以前から普天満宮から調査依頼をいただいていたので、2022年から調査場所としてお願いをし、発掘することになりました。

普天満宮洞穴で県内最古級の炉跡が発掘されましたが、予想はされていたか？

普天満宮洞穴遺跡周辺からは、わずかに遺物が確認されていたので、何かは出るだろうと思っていましたがまさか最古級の炉跡が出るとは思っていませんでした。

一次調査(2022年度)では約4000年前の遺物が出てきたので、これは期待できるかな？と思いました。二次調査(2023年度)はそこから深く掘りました。人工的な遺物は何も出てこなかったのですが、ある層に到達したときに、急にガチガチの塊と真っ赤に燃えた地面が見えてきたんですね。これは「炉」ということは推測できました。そこから出てきた灰の塊に混じっていた木炭を測定した結果、旧石器時代にあたる約3万1000年前のものであることがわかったんですね。

この年代が出たときは、「まさか実習で？」という驚きと、その興奮は忘れることができません。普天満宮洞穴を調査して、琉球初期人類の生活を解明していきます。

考古学の重要ポイントとは？

考古学は証拠物証に基づく科学なので、「発掘されたものに対して、さまざまな角度で、細心の配慮をしながら調査分析し、積み上げたデータをもとに歴史を構築していく」という点が重要です。このことを、調査や整理を通して学生に直接伝えていきたいです。

最後に読者のみなさんに一言！

私は、当初から考古学が好きで大学に入学したわけではないです。また中高も含めて大学でもサークルに夢中で勉強がおろそかになり、寄り道をしたこともあります。大学院でも海外調査が楽しくて修士課程を1年延長しました。

今、振り返ると、真剣に取り組まないといけない時期に集中的に取り組んだ結果が今にあるという気持ちがあります。だから、友だちとの交流からコミュニケーション能力や社会性を身につけたり、体力をつけたりなど、大学時代にやらなければならないことはたくさんあります。真剣にやらないといけないときのメリハリと継続する意志があれば、どんなに遅くから出発しても巻き返せるはずですよ。

新里 貴之 (しんざと たかゆき)

総合文化学部社会文化学科准教授

沖縄国際大学文学部社会学科修了後、鹿児島大学大学院人文社会科学研究所にて博士号を取得。

鹿児島大学埋蔵文化調査センターの勤務を経て、2021年4月に沖縄国際大学に着任。

研究分野は考古学。担当科目は考古学概論、南島先史学、アジア考古学など



厚生会館 館内リノベーション

— 創立 50 周年記念事業の一環として —

本学は2022年2月25日に創立50周年を迎え、「創立50周年記念事業委員会」による記念事業の一環として、厚生会館の館内リノベーションを行いました。

厚生会館は1988年(昭和63年)に竣工し、学生、教職員に親しまれてきましたが、新設された学生会館への学食機能の移転に伴い、経年劣化解消と施設機能の向上を踏まえた館内リノベーションが完了し、2024年6月から供用開始となりました。供用後は、「多様な交流の場」として、自由な学習環境や交流の場として利用出来る空間となりました。また、障がいを持った学生が利用しやすいバリアフリーの環境にも配慮しています。



2階 万国津梁ラウンジ

施設・設備

1階	多目的スペース・50周年記念常設展示コーナー・朝野書房
2階	万国津梁ラウンジ・パウダールーム
3階	大研究室(畳間)・小研究室(会議室)
4階	多目的大ホール・ラウンジ

1階

多目的スペース・50周年記念常設展示コーナー・朝野書房



多目的スペース

学生がグループ学習を行ったり、自習やゼミの打ち合わせ、昼食や休憩したりと自由に利用できるスペースです。



50周年記念常設展示コーナー

1階多目的スペース壁面には、50周年記念常設展示コーナーがあります。本学のこれまで歴史をぜひ見学してください。



朝野書房

教科書販売を行っている書店です。授業に必要な書籍類も探すことができます。

2階

万国津梁ラウンジ・パウダールーム



万国津梁ラウンジでは、学生交流の場として親睦を深めることができるスペースです。

女性専用パウダールームも完備しています。



3階

大研究室(畳間)・小研究室(会議室)



大研究室(畳間)

授業だけではなく宿泊も可能で、ゼミ合宿やサークルの宿泊場所としても利用できます。



小研究室(会議室)

校友会・後援会の会議の場として利用しています。

4階

多目的大ホール



本学の祝賀会・定期総会の会場だけではなく、吹奏楽部や演劇部の会場として利用しています。その他にも、ラウンジが新設されました。

OKIU 青春白書 ~活躍する学生たち~

01



喜屋武 柚希
Yuzuki KYAN
経済学部経済学科 3年次 本部高校出身

ただ、ただ夢中に自分の空手道を探す!

沖縄国際大学空手道部には、多くの部員が在籍し、県大会はもとより九州大会、全国大会で活躍しております。そのような輝かしい空手道部に、一人の女子学生がいます。

彼女は、幼いころに空手道場を運営する父から空手の道を勧められて、2022年に開催された「第2回沖縄空手世界大会(会場:沖縄県立武道館)」にて成年女子の部で優勝を勝ち取りました。それまでどのような道のりを歩んできたのでしょうか? これまでのこと、そしてこれからの抱負について聞いてみました。



空手を始めたきっかけを教えてください

父が空手道場を開いていたので、小学校2年生の終わりごろから始めました。

空手は男の子がやるもの、というイメージを持っていたので、すごく嫌だったんですが、両親に「とりあえず1か月頑張ろう!」という感じで説得されていたやいや続けていました。

空手が好きになったきっかけは?

4年生に沖縄県の小林流大会に出場しましたが、そこで二位だったんですよ。一位じゃない! そこで負けず嫌いの私に火がついたことがきっかけです。



翌年は優勝しましたか?

5年生と6年生は二連覇しました。ただ、小学生の大会はグループごとの優勝だったんですが、私の中では全県の一位を勝ち取りたいと思い、中学生になっても継続しました。

中学生からは伝統空手だけでなく、競技空手にも挑戦したのですが、別の壁がありました。

壁について教えてください

私は小林流という流派なんですけど、競技空手の大会では、指定された型で演武しないとダメなんです。私の流派の型とは違うので、新しい型を覚えることもそうですが体の使い方も変わるので最初はとても苦労しました。

この壁をこえるために、父と型のYouTubeを見て、自分の演武を録画して修正をしていく毎日でした。最初は1回戦敗退だったんですが、中学1年生の11月に行われた全国中学生空手道大会県予選で優勝し全国大会の出場権を獲得しました。

また、中学校は武道場がなかったので、練習場所の確保という壁もありました。自宅の庭で練習しましたね。父からは「この芝生がはげると練習しろ!」と言われて、しっかりとツルツルにしました(笑)

お父さんのお話が出てきますが 存在は大きかったですか?

はい。父は師匠でもありますけど、中学生からは大会で勝つために新しい型と一緒に学んでいきました。二人で試行錯誤しながら稽古を積んだので、同志みたいな感覚ですね。

これまで練習してきて 嫌になったことはありませんか?

空手にハマった時からは嫌になることはありませんでした。ひたすら、自分の技を磨くことに集中していました。ただ、ただ夢中でしたね。

本学に入学してから、喜屋武さんの 中での空手は変わりましたか?

大学に入学すると、講義、バイト、友だちとの交流など一日の過ごし方が変わりました。また下宿のため、家のことも自分でやらなくてはいけません。空手漬けの毎日から、大学に入学するとすべてが空手のことだけではなくなりました。また、空手道部で主務として、部の事務を担当しており、部の運営に携わっています。このような毎日を過ごすことで、空手との向き合い方が変わりました。

どのあたりが変わったか教えてください

「ただ、ただ空手に夢中な日々」から、空手以外のことに時間を費やす経験ができたことで、空手と向き合う気持ちがより深くなってきました。これまで乗り越えてきたことを無駄にせず、これからも生みかけて、自分の生き方とか考えていることを体現する空手道にしたい、という風になりましたね。一言で言うと「ただ、ただ夢中に自分の空手道を探す」です。でも、負けず嫌いな自分はいまでも変わりません!(笑)

これからの抱負を聞かせてください!

2022年の世界大会で優勝しましたが、2026年に開催される大会でも優勝を勝ち取ります。

OKIU 青春白書 ~活躍する学生たち~

02



大田 芽生
Mei Ohta
総合文化学部英米言語文化学科 4年次 那覇西高校出身

大好きな存在があったから、 楽しんで語学学習をすることが出来ました!



大田さんは第93回韓国語能力試験でTOPIK II (6級)に合格しました。韓国語能力試験は、大韓民国政府(教育省)が認定しており、韓国文化の理解および留学などの学術的性格に必要な能力の測定・評価を目的とし、TOPIK I (1~2級:初級)、TOPIK II (3~6級:中・上級)のレベルに応じた試験を実施しています。

今回、最上級の6級に合格した大田さんに、韓国語学習を始めたきっかけから今後の目標についてインタビューを行いました。

韓国語を始めたきっかけは?

中学2年生の時に、韓国アイドルのセブンティーンが大好きになって、その子たちの喋っている言葉がどうしても聞き取りたかったのがきっかけです。

K-POP自体は小学6年生から本当に好きだったのですが、それから更に好きになって、「なんで韓国に生まれなかったの?」と思うほどでした。

韓国語の魅力について

韓国語の比喩表現が好きですね。例えば、日本語で「決心する」という言葉は、韓国語の表現では「心を食べる」と言います。韓国語では食べるという言葉を使った比喩表現が頻繁にあって、確かに「心を食べる」という言葉が、決心する=心を決めている感じがして、表現方法が面白いと思いました。

語学学習を続けるモチベーションや 学習方法について

私の場合、推しの存在が大事なモチベーションだったと思います。この人たちの伝えていることを知りたいという思いがあったから、語学学習というよりも楽しんでやっている気持ちの方が強かったです。それに英語とハングルの表記がちよっと似ているし、思ったよりも勉強しやすいく感じて、歌詞を見ながら歌ったりするうちに、次第に歌詞の聞き取りや意味が理解出来るようになりました。

韓国の映画やドラマを見ることも大好きなので、韓国語字幕や音声でNetflixドラマを見ることも語学学習になっています。

その他にも、韓国語で独り言をずっと言うなど、自分が韓国人みたいになったつもりで、お腹がすいたとか、今日アイドルが言っていたフレーズなどを呟いたり、図書館の参考書で、過去問を解き、分からない単語をひたすら覚えていきました。



韓国語能力試験について

イ・ヒョンジョン先生の「国際理解課題研究I」で韓国語能力試験の紹介があり、気軽な気持ちで受けてみました。試験には聞き取り、読解、筆記があり、特に難しかったのは筆記です。筆記問題では、まず日本語で論述意見をまとめますが、自身の日本語能力や論理的思考も磨く必要性を感じました。

これからの抱負を聞かせてください!

来年2月から国外協定校の韓南大学校(韓国)に1年間の派遣留学が内定しました。現在4年次なので、就職活動も視野に入れていきます。

大学卒業後は韓国のホテルで3年間ほど働き、様々な経験を積んでから、沖縄に戻ってきたいと考えています。沖縄の綺麗な景色の中で働きたいので、沖縄でもホテルのフロント業なども経験してみたいです。

それから、韓国で就職するためにはTOEICが必要になるので、現地の英語塾でTOEICのレベルアップに向けて頑張りたいです。

語学学習者の方々へのメッセージ

やっぱり推しの存在が一番です! お気に入りのものを見つけて、語学学習の感覚ではなく、趣味に近い気持ち、楽しい気持ちで続けていくことが一番大切です!

グローバル教育支援センターから

日本語学・文化研修で韓南大学校(韓国)から研修生を受け入れた際は、研修生のサポートをしてもらいました。宿泊ホテルのチェックインや観光施設の説明等、様々な場面でスムーズにコミュニケーションを取ってもらいました。また、大田さんは韓国語能力試験最上級である6級に合格しています。

9月には韓国からの交換留学生1名を受入れ、安心して学生バディとして市役所や郵便局の手続きなど生活面のサポートをお願いしています。

来年2月には派遣留学生として韓国に出発予定なので、留学に向けて大田さんをバックアップします。

2024.02.14

2023（令和5）年度学生ボランティア団体助成事業「学生ボランティア団体活動レポート」で優秀レポートとして採択

本学サークル Teen support room 沖種（ティーン サポート ルーム おきだね）が、2023（令和5）年度学生ボランティア団体助成事業「学生ボランティア団体活動レポート」で優秀レポートとして採択されました。

2月14日に京都市で開催された表彰式には、同サークル顧問比嘉昌哉先生（総合文化学部教授）と社会文化学科3年次嶋崎結依さん（与勝高校出身）、英米言語文化学科3年次徳森香琳さん（球陽高校出身）が出席しました。

この助成事業は、一般財団法人 学生サポートセンターが自由な発想と行動力によって社会貢献を行っている学生を構成員とする「学生ボランティア団体」を経営的に支援することを目的としています。

2014（平成26）年に設立された Teen support room 沖種は、中学生への学習支援、その他、運動、ボードゲーム、中学生の意思を尊重した相談活動等を行っています。

ボランティア団体 ジネスプランコンテスト
一般財団法人学生サポートセンター



2024.03.24

学生環境委員会による大学周辺の渋滞緩和に向けた取り組みを宜野湾市役所で報告を行いました



2024年3月24日、宜野湾市役所にて、地域環境政策学科の嶋山宗斗さんが「本学周辺の渋滞緩和の取り組み」に関する成果報告を行いました。

沖縄国際大学学生環境委員会技術部部長の嶋山さんは、学生駐車場利用者の待機車両が引き起こす渋滞緩和の実現を目指し、2023年度の宜野湾市「令和5年度地域づくり推進事業」の助成を得て活動を行いました。

嶋山さんは、AI判定による学生駐車場の利用状況データを学生に提供し、利用可能な駐車場を事前にお知らせすることで渋滞を引き起こさない行動変容を促すことを着想し、委員会のメンバーとともに実現に向けて取り組んでいます。

報告では、学生駐車場入り口付近の待機車両の様子から分かる交通状況の課題、設置カメラによる駐車場利用台数の算出方法等について解説しました。

また、カメラ装置には沖縄の気候に対応可能な工夫を加え、バッテリーと太陽光発電パネル、wi-fiアンテナを搭載し、非電源の状況でも対応できる点についても報告しました。

今後は、WEBサイトを完成させ、システムの供用化を目指したいと展望を語りました。会場からは、技術的な質問や今後の活動継続への期待が寄せられました。



2024.04.15-26

春のサークル紹介を開催しました



2024年4月15日から26日にかけて、3号館・5号館前の中庭「かじんぬ広場」にて春のサークル紹介を開催しました！ 様々なサークル・クラブ活動についての周知と

同時に、新入生が興味のあるサークルを見つけ、有意義なキャンパスライフを送れるように開催しています。多くの新入生が、真剣まなざしで各サークルのパフォーマンスに見入っていました。



2024.04.17

公益財団法人 金秀青少年育成財団大学生奨学金給付式

2024年4月17日、那覇市の金秀本社において公益財団法人金秀青少年育成財団の奨学金給付式が行われました。



これまでの財団の活動に深く感謝申し上げ、奨学金は学生支援に活用させていただきます。

「公益財団法人金秀青少年育成財団大学生奨学金」

目的：青少年が心身ともに健やかに生まれ育ち、次代を担う有為な社会人として成長していくために必要な援助を行い、もって社会的貢献を果たすことを目的としている。

2024.04.30

体育祭

2024年4月30日、体育祭を開催しました！
 体育祭は、学部学科・学年、学生と教職員の垣根を越え、親睦を深める目的で毎年開催されています。学生有志の実行委員会が企画・運営の全てを担う、沖国大の特徴的な行事の一つです。
 上位入賞チームには賞品も用意され、今年度も大いに盛り上がり、学生や教職員の親交を深めた1日となりました。



2024.05.16

写真家：石川真生さんによる特別講義を実施しました

2024年5月16日、共通科目「芸術学Ⅰ」（担当：浦本寛史経済学部教授）で、本県出身の写真家：石川真生さんを講師に迎え、番組ディレクターの植田恵子さんと杉本美泉さんの進行による特別講義を実施しました。



石川さんは、これまでに第43回土門拳賞や文化庁の芸術選奨文部科学大臣賞を受賞しており、沖縄の地を撮り続けている写真家です。

今回の特別講義では、2023年3月にNHK Eテレで放送された「沖縄の夜を生きて～基地の街と女性たち～」について番組制作の意図や石川さんが沖縄の学生たちへ伝えたいことなど、「生きることへの自由」について考えてもらう内容でした。石川さんが語る「沖縄」は、学生にとって普段の講義では得られない姿に映った様子でした。



2024.06.07

大学生のための詐欺トラブル予防セミナーを実施しました



2024年6月7日、詐欺トラブル予防セミナーを実施しました。

2022年の18歳成年年齢施行に伴い、学生や若年層が詐欺や犯罪、金銭トラブルに巻き込まれる可能性が高まっています。本学学生に注意喚起するため、弁護士の高良祐之先生（当山法律事務所）を講師にお招きし、具体的な詐欺の手口や、トラブルに巻き込まれたときの相談窓口など有益な情報を提供していただきました。

約70名の参加者は、高良先生の講話に熱心に耳を傾けていました。



2024.06.30 / 07.14

オープンキャンパスを開催しました！

2024年6月30日(日)・7月14日(日)にオープンキャンパスを開催しました！

両日合わせて約1,900名の方にご来場いただきました。当日は、気軽に参加できるように無料送迎バスの各路線運行、昼食時には300名限定のカレーライスチケットの無料配布を行い来場者に楽しんでいただくなどの取り組みをしました。

天候にも恵まれ、学科紹介や体験講座、大学生によるキャンパスツアー、保護者向けガイダンス、個別相談、サークルアトラクションなどさまざまなプログラムを実施し、“沖国大”をより身近に感じてもらう機会となりました。





バドミントン部

部長 新城 尚真

入部方法

Instagram : okiu.bado に連絡
または体育館に直接きてください!

活動場所・曜日・時間

活動場所: 沖縄国際大学体育館

私たち沖縄国際大学バドミントン部は、男女32名で活動しています。初心者から経験者まで、全てのレベルのプレイヤーが楽しく活動できる環境を提供しており、週に5回、大学の体育館で練習を行っています。部員同士の仲も良く、たくさんの行事があり充実した時間を過ごすことができます。

大会や県外でのリーグ戦にも積極的に参加しており、競技レベルの向上を目指して頑張っています。もちろん、趣味として楽しみたい方も大歓迎です。一緒にバドミントンを通じて、大学生活をさらに充実させましょう!

新入部員随時募集中です。ぜひ一度、見学や体験にお越しください。私たちと一緒に汗を流し、素晴らしい仲間と共に成長していきましょう!



ボウリング部

部長 中里 隆星

入部方法

活動時間にお越し
いただくか、
公式Instagram
アカウントまで
ご連絡ください。



活動場所・曜日・時間

活動場所: エナジックボウル美浜
毎週金曜日 19~22時

ボウリング部は、男子7名で活動しています! 練習は北谷町のエナジックボウル美浜で、毎週金曜日19~22時に活動しています!

初心者大歓迎で、経験豊富なメンバーがボウリングについて指導します!

ボウリング部の実績としては全国大会で2度の優勝を経験しています!

ボウリング部員は全員仲が良く、昼休みや空きコマの時間に集まって絆を深めています!

県内大学で唯一のボウリング部なので、唯一無二の経験ができること間違いありません。気軽に見学、体験のご連絡お待ちしております!





書道部

部長 石井 茜

入部方法

22AB139@okiu.ac.jp
へメールお願いします♪

活動場所・曜日・時間

活動場所:サークル棟 8203

初めまして、書道部です! 書道を自由に楽しむ団体です。

活動では、年初の書初め、書道コンテストへの出品、留学生との書道体験、文字を書く依頼をいただくこともあります。

また、書道に詳しい先生が書き方を教えてください。自分の文字を活かしつつ、目指す書道ができるようになります。月に一度お弁当を買い出し、ランチタイムをします♪ 部員同士の交流も大切にしています。男女関係なく、ゆったりとした雰囲気です!

どなたでも大歓迎です!👉

お気軽にメールしてください♪



OSSF?

部長 長嶺 鈴

入部方法

公式Instagramの
アカウントにDM
してください!



活動場所・曜日・時間

活動場所:沖縄国際大学体育館地下1階

私たちOSSF(オキコク・ストリート・スタイル・ファミリー)の略でストリートダンスを中心に踊るダンスサークルです。イベントの開催や出演などの活動を行います。

自由を重んじており、活動時間や活動内容は自分の好みに合わせることができます。大学からダンスを始めた初心者の方も多いため、経験の有無に関わらず気軽に見学・体験に来てください!

一緒にダンスできる日を楽しみにしています!

レッスンやイベントの詳細などの活動内容はInstagramにアップしているのでチェックしてください!



体育系サークルの主な実績

空手道部

- 第47回 沖縄県学生空手道選手権大会
男子個人形 【準優勝】八塚楓真
女子個人形 【優勝】佐和田莉乃 【準優勝】喜屋武柚希 【3位】金城愛心
男子個人組手 【優勝】八木虎平 【準優勝】當山晃生 【3位】新川蓮
女子個人組手 【優勝】比嘉花梨 【準優勝】八木美心 【3位】久場麗佳 友利瑛令那
- 第64回全九州学生空手道選手権大会
女子個人形 【3位】喜屋武柚希
- 第42回 沖縄県空手道選手権大会 兼 国体予選会
成年女子個人形 【準優勝】喜屋武柚希 【3位】金城愛心
成年男子個人組手(軽量級) 【準優勝】八木虎平
成年女子個人組手 【準優勝】比嘉花梨
- 第72回全九州大学空手道選手権大会
女子団体形 【準優勝】
男子団体組手 【ベスト8】
女子団体組手 【ベスト8】
- 第75回 沖縄県民体育大会空手道競技
一般女子個人形 【ベスト8】喜屋武柚希 西平彩珠
女子個人組手 【優勝】比嘉花梨 【準優勝】八木美心
男子個人組手 【ベスト8】八木虎平 新垣陽大

フルコンタクト空手

- 第5回極真連合杯世界空手道選手権大会
一般女子軽量級 【優勝】金城芽唯美 【準優勝】金城杏奈
- 第8回JFKO全日本フルコンタクト空手道選手権大会
一般女子軽量級 【3位】金城杏奈
- 第2回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会
団体 【2位】
個人 1部(上級者)女子軽量級(55kg未満) 【準優勝】金城杏奈
2部(中級者)男子重量級(70kg以上) 【3位】福森琉生
3部(初級者)男子軽量級(70kg未満) 【優勝】渡久地政弥

硬式野球部

- 第109回九州地区大学野球連盟南部九州ブロック大会 沖縄地区予選 【優勝】
- 第108回九州地区大学野球連盟南部九州ブロック大会 決勝トーナメント 【準優勝】
- 第25回沖縄県大学野球フレッシュリーグ戦 【優勝】
- 第110回九州地区大学野球連盟南部九州ブロック大会 沖縄地区予選 【準優勝】
- 第110回九州地区大学野球連盟南部九州ブロック大会 決勝トーナメント 【ベスト4】
- 九州地区大学野球連盟第12回新人戦(沖縄県代表) 【優勝】
- 第42回石川逢篤杯争奪硬式野球大会 【ベスト4】

軟式野球部

- 2023年度沖縄県大学軟式野球春季リーグ戦 【準優勝】 【優秀選手】比嘉海理
- 2023年度沖縄県大学軟式野球秋季リーグ戦 【準優勝】 【優秀選手】金城樹

男子ソフトボール部

- 第41回九州地区大学(男子・女子)ソフトボール部春季大会(出場)
- 第23回九州地区大学(男子・女子)ソフトボール部秋季大会(出場)

陸上競技部

- 第35回海邦国体記念記録会兼国体選考会
男子一般・高校1500メートル 【3位】玉城孝介(4分4秒94)
- 第93回九州学生陸上競技対校選手権大会(出場)
- 第74回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会(出場)
- 第52回九州学生陸上競技選手権大会(出場)
- 第14回大分チャレンジゲームズ(出場)
- 第309回日本体育大学長距離記録会(出場)
- 第20回秋季記録会(出場)
- 第75回沖縄県民体育大会(出場)

卓球部

- 令和5年おきなわサービサー杯春季一般卓球団体戦 女子団体1部 【準優勝】
- 第78回国民体育大会卓球競技(成年)県予選
男子シングルス 【ベスト16】平山良一郎 仲宗根賢人
女子シングルス 【2位】友寄綾香 【5位】平良百喜
- 第74回全九州学生春季卓球選手権大会
男子団体1部 【4位】 女子団体1部 【5位】
- 第74回全九州学生秋季卓球選手権大会 兼 全日本大学総合卓球選手権大会予選(個人の部)
男子団体1部 【4位】 女子団体1部 【4位】
- 令和5年度 オリオンビール杯夏季一般卓球団体戦
男子 【2部準優勝】Bチーム 【3部準優勝】Cチーム 女子 【1部優勝】
- バタフライ・チームカップ 一般の部 大会 女子 【準優勝】
- 令和5年度 全日本卓球選手権大会(一般ダブルス・シングルス)県予選
混合ダブルス 【準優勝】友寄、前原ペア
女子シングルス 【3位】友寄綾香 【4位】田畑明希
- 令和5年度 沖縄電力杯秋季一般卓球団体戦 女子団体1部 【優勝】
- 第75回 沖縄県民体育大会 卓球競技 決勝トーナメント
男子 那覇市 【2位】平山・野原 名護市 【4位】仲宗根・竹内
女子 那覇市 【2位】高山・友寄・平良 島尻郡 【5位】田畑
- 第40回全九州学生新人卓球選手権大会
男子シングルス 【ベスト16】仲宗根賢人・竹内史琉
女子シングルス 【ベスト4】平良百喜 【ベスト16】田畑明希
男子ダブルス 【ベスト8】仲宗根・野原ペア 新城・竹内ペア
女子ダブルス 【ベスト4】平良・田畑ペア
- 第9回オール西日本大学選手権大会
女子シングルス 予選リーグ 【2位】高山・田畑 【3位】平良 【4位】友寄
- 第78回全九州卓球選手権大会(一般の部)県予選
男子シングルス 【ベスト16】平良・仲宗根・竹内・佐久川
男子ダブルス 【ベスト8】平山・仲宗根ペア 新城・竹内ペア
女子シングルス 【優勝】田畑明希 【ベスト4】友寄・高山 【ベスト16】平良・上原
女子ダブルス 【優勝】友寄・高山ペア 【準優勝】平良・田畑ペア
- 第64回タイムス杯争奪総合個人卓球選手権大会(男女予選リーグ)
男子シングルス 【ベスト16】仲宗根・竹内
女子シングルス 【ベスト4】友寄 【ベスト8】田畑 【ベスト16】高山・平良
- 第48回新報旗争奪総合団体卓球選手権大会
男子団体 【ベスト16】Bチーム 女子団体 【優勝】

男子ハンドボール部

- 第32回九州学生ハンドボールリーグ春季大会 【二部リーグ残留】 【得点王】石垣舜介

体育系サークルの主な実績

男子サッカー部

- 第38回九州大学サッカーリーグ代替大会1部(出場)
- 第47回九州大学サッカートーナメント大会(出場)
- 第23回沖縄県学生サッカーリーグ 【2位】
- 第23回沖縄県学生サッカー選手権大会 【優勝】
- 第52回OTV杯争奪沖縄県サッカーリーグ(出場)

女子サッカー部

- 沖電工杯OFA第57回沖縄県サッカー祭り D組・女子の部(出場)
- KYFA第32回九州大学女子サッカー選手権大会(出場)
- 第31回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル 【3位】
- KBC学園杯争奪OFA沖縄県女子サッカーリーグ2024(出場)

ボウリング部

- 第59回西日本ボウリング選手権大会 4人チーム戦 【3位入賞】
- 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体(出場)
- 第56回全日本新人ボウリング選手権大会(出場)
- 第61回全日本大学ボウリング選手権大会 【優勝】

ゴルフ部

- 第61回全琉アマチュアゴルフ選手権大会(出場)
- 西日本新聞社杯争奪九州学生ゴルフ選手権大会(出場)
- 国民体育大会(出場)
- 九州学生ゴルフ大会(出場)
- 麻生杯争奪九州学生ゴルフ選手権(出場)
- 沖縄県学生ゴルフ選手権 【男子1位】
- 沖縄県民体育大会 【団体1位】

フライングディスク部

- 第48回全日本アルティメット選手権大会九州・沖縄地区予選 【2位】
- 第34回全日本大学アルティメット選手権大会本戦・決勝戦(出場)
- 第6回全日本U21アルティメット選手権大会九州・沖縄地区予選(出場)

男子バレーボール部

- 九州大学春季バレーボール男子チャレンジマッチ佐賀大会 【ベスト16】
- 2023年度九州大学秋季バレーボール男子チャレンジマッチ 【ベスト16】

女子バレーボール部

- 令和5年度沖縄県大学バレーボール春季大会 【3位】
- 令和5年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 沖縄県ラウンド(出場)
- 令和5年度沖縄県大学バレーボール秋季大会 【3位】
個人 【ブロック賞】知念菜月 【スパイク賞】花城みつば
- 2023年度九州大学秋季バレーボール女子チャレンジマッチ 福岡大会(出場)

自転車競技部

- 漢那ダムロードレース大会(出場)
- ツール・ド・おきなわ(出場)
- 沖縄県民体育ロードレース大会 【4位】
- 嘉数杯争奪トラックレース大会(出場)

男女バドミントン部

- 稲福杯争奪バドミントン選手権大会 女子団体 【ベスト8】
沖縄県総合ダブルスバドミントン大会 【準優勝】入江舞香
沖縄県学生連盟バドミントン大会
男子団体 【優勝】 女子団体 【3位】
女子シングルス 【3位】入江舞香
男子シングルス 【準優勝】稲嶺盛斗 【3位】糸洲直
男子ダブルス 【準優勝】上原灯哉・糸洲直
女子ダブルス 【3位】松田美音・神谷愛華 【3位】新垣日菜子・久米麗
- 沖縄県学生連盟新人バドミントン選手権大会
男子団体 【2位】
男子シングルス 【2位】稲嶺盛斗
男子ダブルス 【3位】新城尚真・大城歩夢
女子シングルス 【2位】喜瀬紅葉 【3位】神谷望結
- 沖縄県学生連盟バドミントンリーグ大会 女子団体 【2位】

硬式テニス部

- うるま市テニス大会 予選リーグ 【2位】
- 天沼本戦 【ベスト16】
- MS杯 【ベスト16】

ソフトテニス部

- 沖縄県春季学生リーグ戦大会 団体 【優勝】冲国Aチーム 【3位】冲国Bチーム
- 夏季クラブ対抗戦 【準優勝】冲国A
- 全九州学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会団体戦 【リーグ優勝】
- 新春クラブ対抗戦 【準優勝】冲国A
- 沖縄県秋季学生リーグ 団体戦 【優勝】冲国A 【3位】冲国B
個人戦 【優勝】大城・大賀ペア 【準優勝】上原・金城ペア
【3位】當間・照屋ペア

文化系サークルの主な実績

吹奏学部

- 第39回沖縄県吹奏楽祭
- 第63回沖縄県吹奏楽コンクール 大学の部 銀賞
- Autumn Concert
- 第48回沖縄県アンサンブルコンテスト 管楽七重奏 銀賞
- 第18回沖縄国際大学吹奏楽部定期演奏会

琉球風車

- 第68回全島エイサー祭り
- 第46回宜野湾はごろも祭り

琉球芸能文学研究会

- 宜野湾区大綱引き
- 第22回九州ブロック介護老人保護施設大会

TCG サークル

- ガイアッシュ杯(団体戦) 【優勝】

学内人事

◆ 採用教員紹介 ①最終学歴 ②専門分野

[2024年4月1日付採用]



法学部 地域行政学科 講師
小林 宇宙 (こばやし こすも)

① 一橋大学法学研究科 法学・国際関係専攻修了
修士(法学)
② 法学



総合文化学部 英米言語文化学科 講師
黄川寧 (こう せんねい)

① オークランド大学修了
博士 (Doctor of Philosophy in Education)
② 教育学



総合文化学部 日本文学学科 講師
劉 森 (りゅう みょう)

① 首都大学東京大学院 人文科学研究科文化関係論専攻修了
博士(文学)
② 文学、教育学



総合文化学部 人間福祉学科 講師
永松 美菜子 (ながまつ みなこ)

① 福岡県立大学大学院 社会学研究科社会福祉専攻修了
修士(社会福祉)
② 社会福祉学

◆ 採用職員紹介 ①最終学歴

[2024年4月1日付採用]



教務部 学務課 係員
渡口 乃彩 (とぐち のあの)

① 沖縄国際大学
総合文化学部 人間福祉学科卒業



センター統括部 入試センター 係員
富山 夏希 (とみやま なつき)

① 名城大学
国際学群語学教育専攻卒業



学生部 学生課 係員
比嘉 琢美 (ひが たくみ)

① 沖縄国際大学
産業情報学部 企業システム学科卒業



教務部 学務課 社会福祉実習助手
高吉 真由美 (たかよし まゆみ)

① 沖縄国際大学
総合文化学部 人間福祉学科卒業



研究支援部研究支援課 南島文化研究所
研究支援助手
宮城 茂雄 (みやぎ しげお)

① 沖縄国際大学大学院 地域文化研究科修了
修士(文学)



研究支援部研究支援課 沖縄経済環境研究所
研究支援助手
仲松 桃子 (なかまつ ももこ)

① 沖縄国際大学大学院 地域産業研究科修了
修士(経済学)

◆ 退職者 ※特任教員、再任用職員として引き続き在籍する者は除く

[2023年6月30日付退職]

職名	氏名	勤続年数
財務部管財課 副参事	比嘉 安直	39年3か月

[2023年10月25日付退職]

職名	氏名	勤続年数
法学部 教授	前津 榮健	31年6か月

[2024年3月31日付退職]

職名	氏名	勤続年数
総合文化学部 教授	兼本 敏	32年
総合文化学部 教授	クレイグ K ジェイコブソン	23年
総合文化学部 准教授	樋口 美智子	5年
法学部 講師	山中 雄次	3年
法学部 講師	姜 恩英	1年6か月
産業情報学部 准教授	比嘉 一仁	4年6か月
学生部 事務部長	上原 靖	37年
沖縄経済環境研究所 研究支援助手	玉城 愛梨	3年
南島文化研究所 研究支援助手	金城 翼	1年
教務部学務課 社会福祉実習助手	宮城 千恵子	3年

◆ 昇任 教育職員

[2024年4月1日付昇任]

新職名	氏名	旧職名
経済学部 教授	鹿毛 理恵	経済学部 准教授
経済学部 准教授	砂川 かおり	経済学部 講師
産業情報学部 教授	髭白 晃宜	産業情報学部 准教授
総合文化学部 教授	井上 泉	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	市川 智生	総合文化学部 准教授

◆ 併任 教育職員 ※再任の者は除く

[2024年4月1日付併任]

新職名	氏名	職名
教務部長	李 炫姪	産業情報学部 教授
研究支援部長	上江洲 純子	法学部 教授
学生部長	島袋 伊津子	経済学部 教授
図書館長	田場 裕規	総合文化学部 教授
地域産業研究科長	仲地 健	産業情報学部 教授

大学祭 11月23日(土)~24日(日)

毎年恒例の沖国大祭！活動的な沖国大生を象徴するようなさまざまなパフォーマンスやアトラクション、模擬店があなたを待っています！



information

大学行事案内 (2024年7月~2024年12月)

6月30日(日)	オープンキャンパス
7月14日(日)	オープンキャンパス
7月15日(月)	出校日(海の日)
7月29日(月)~8月3日(土)	前期試験・補講期間
8月13日(火)~9月15日(日)	夏期休業
9月16日(月)~9月18日(水)	後期科目Web仮登録期間、在学生オリエンテーション期間
9月20日(金)	後期講義開始
9月20日(金)~9月26日(木)	後期登録調整期間
9月23日(月)	出校日(秋分の日)
10月4日(金)	秋季卒業式
10月12日(土)~10月15日(火)	総合型選抜A日程・指定競技奨学生選抜試験
11月3日(日)	オープンキャンパス
11月4日(月)	出校日
11月20日(水)	休校日(9/23振替)
11月21日(木)	休校日(11/4振替)
11月22日(金)	休校日(大学祭準備)
11月23日(土)~11月24日(日)	大学祭
11月25日(月)	休校日(大学祭後片付け)
12月6日(金)~12月8日(日)	学校推薦型選抜/特別・編入(前期)試験
12月24日(火)~1月5日(日)	冬期休業

OKIU SNS

大学公式SNSでは随時情報を発信中です。LINEでは入試広報関連情報を、InstagramとX(旧Twitter)では大学構内の風景やキャンパスライフを、Facebookでは保護者や卒業生向けの情報を中心に更新していきます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



LINE
@okikokudai



Instagram
@okikokudai_pr



X (旧Twitter)
@okikokudai_pr



facebook
@OKIU.PR

平和・共生 個性・創造 自立・発展



沖縄国際大学



編集 | 事務局広報課 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1 TEL.098-893-7629 Email : pubchr@okiu.ac.jp

印刷 | 株式会社 尚生堂